

2024年度 学校関係者評価報告

1. 教育理念・目標

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	ほぼ適切	ほぼ適切
学校における職業教育の特色は明確になっているか	ほぼ適切	
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	ほぼ適切	
学校の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが保護者等に周知されているか	ほぼ適切	
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	ほぼ適切	

【関係者評価】

教育理念に関する評価	評価項目	チェック欄	各評価項目についてはほぼ適切に実行されている。学校理念等の周知のための情報発信等も進んでいるが、各自の理解度を深めるためにも継続して実施すること必要である。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

2. 学校運営

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
目的等に沿った運営方針が策定されているか	ほぼ適切	ほぼ適切
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	ほぼ適切	
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	ほぼ適切	
教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	ほぼ適切	
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	ほぼ適切	
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	適切	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	適切	

【関係者評価】

学校運営に関する評価	評価項目	チェック欄	学校運営に関して教職員全体の意識の統一化、情報の共有化が図られ、ほぼ適正に実施されている。学生増加に対応した取組に期待したい。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

3. 教育活動

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	ほぼ適切	ほぼ適切
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	ほぼ適切	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	ほぼ適切	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	ほぼ適切	
関連分野の企業・関連施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	ほぼ適切	
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	ほぼ適切	
授業評価の実施・評価体制はあるか	ほぼ適切	
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	ほぼ適切	
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	適切	
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	ほぼ適切	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	ほぼ適切	
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	ほぼ適切	
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研究や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	ほぼ適切	
職員の能力開発のための研修等が行われているか	ほぼ適切	

【関係者評価】

教育活動に関する評価	評価項目	チェック欄	全体的にほぼ適切に運営されており、充実した教育活動を行っていることが伺える。引き続き、外部からの評価を受けることで更なる向上を希望する。教員の資質向上のため、研修機会の拡大を希望する。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

4. 学修成果

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
就職率の向上が図られているか	適切	ほぼ適切
資格取得率の向上が図られているか	適切	
退学率の低減が図られているか	ほぼ適切	
卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	ほぼ適切	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか	ほぼ適切	

【関係者評価】

学習成果に関する評価	評価項目	チェック欄	前年に比べ、就職率及び資格取得率の向上が見られた。今後は卒業生の追跡調査を定期的に行い、学習効果の把握、カリキュラム等へのフィードバックに期待したい。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

5. 学生支援

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	ほぼ適切	ほぼ適切
学生相談に関する体制は整備されているか	ほぼ適切	
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	やや不適切	
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	ほぼ適切	
課外活動に対する支援体制は整備されているか	やや不適切	
学生の生活環境への支援は行われているか	ほぼ適切	
保護者と適切に連携しているか	ほぼ適切	
卒業生への支援体制はあるか	ほぼ適切	
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	ほぼ適切	
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	やや不適切	

【関係者評価】

学生支援に関する評価	評価項目	チェック欄	新年度学生数の急増においても、スタッフを増員するなど学生一人一人に対して丁寧な対応が行われていた。就職者も増えているため関係機関との連携によるキャリア教育・職業教育にも積極的に取り組んでほしい。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

6. 教育環境

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	ほぼ適切	ほぼ適切
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	ほぼ適切	
防災に対する体制は整備されているか	ほぼ適切	

【関係者評価】

教育環境に関する評価	評価項目	チェック欄	現状での教育環境としては適切に整備されているが、PC等実習機器の更新を筆頭に、中長期計画に基づく設備改善計画の実行に期待している。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

7. 学生の受入れ募集

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
学生募集活動は、適正に行われているか	ほぼ適切	ほぼ適切
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	ほぼ適切	
学納金は妥当なものとなっているか	ほぼ適切	

【関係者評価】

学生の受入れ・募集に関する評価	評価項目	チェック欄	教務と広報における協力体制を組織し学生募集活動への取組は進んでいる。在校生や卒業生による紹介制度の成果も上がっており、今後も引き続き期待したい。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

8. 財務

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	ほぼ適切	ほぼ適切
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	ほぼ適切	
財務について会計監査が適切に行われているか	ほぼ適切	
財務情報公開の体制整備はできているか	ほぼ適切	

【関係者評価】

財務に関する評価	評価項目	チェック欄	定員に近い学生の入学により財務状況は好転しているが、総在籍数としては2年生が定員割れのため、引き続き厳しい状況であった。新年度は入学定員をほぼ満たす予定でありさらに改善が見込まれる。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

9. 法令等の遵守

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	ほぼ適切	ほぼ適切
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	ほぼ適切	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	ほぼ適切	
自己評価結果を公開しているか	ほぼ適切	

【関係者評価】

法令等の遵守に関する評価	評価項目	チェック欄	学校関係者評価および自己評価の共有化を実施することにより、組織の透明性が確保されることを希望する。また、評価に対する改善策への取組状況・進捗状況の検証を希望する。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

10. 社会貢献・地域貢献

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	やや不適切	ほぼ適切
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	やや不適切	
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	やや不適切	

【関係者評価】

社会貢献・地域貢献に関する評価	評価項目	チェック欄	学園祭やオープンスクールなど学生と地域住民との交流の機会を設けることで、地域貢献できる身近なボランティア活動の支援実施に期待する。
	適切		
	ほぼ適切		
	やや不適切	○	
	不適切		